

		登録No.	1077	
名称	残存型枠工法「残存型枠プロテロックピラスワンダー」		収受受付年月日	平成16年7月5日
			変更受付年月日	令和5年3月17日
副題	施工性に優れた即脱コンクリート製薄肉残存型枠		開発年	1997. 04. 01
区分	■1. 工法   □2. 機械   □3. 材料   □4. 製品   □5. その他 番号：			1
分類	1-2-3. 河川／砂防工			
キーワード	■1. 安全・安心			

## 新技術概要説明資料（2／5）

新技術名称

残存型枠工法「残存型枠プロテロックピアスワンダー」

登録No.

1077

## （特 徴）

（長 所）①型枠パネルに内蔵された鋼製補強部材は、エポキシ電着塗装で防錆処理されており、長期耐久性に優れる。②内部より組立できるため、構造物により足場が不要になる。③専用組立部材の使用により、特殊技能は不要で普通作業員で組立が出来る。④ピアスタイプは、貫通孔によりコンクリートの充填が容易に目視で確認できる。⑤型枠パネルに安全防護柵を取り付ける専用金具により、高所作業でも安全に作業ができる。⑥型枠であるため、現場打ち全分野に対応できる。

（短 所）①型枠寸法より小さい小構造物では切断加工の手間が生じ、工期短縮効果が少ない。②半径10m以下のカーブ施工で勾配がある場合、型枠にすき間が生じ、意匠性を損ねる。

## （施工方法）

①型枠パネルを専用吊金具等を使用し吊り上げ、構造物内部より専用組立部材を用い取付け組み立てる。②専用組立部材に支持材（セパ鉄筋）を溶接又はネジ留め、アンカー鉄筋等に溶接し完了。③コンクリート打設。打設後は、すぐに埋め戻しができる。 ①～③の繰り返しにより構造物完成

## （施工単価等）

■1(1). 歩掛りあり（標準） □1(2). 歩掛りあり（暫定） □2. 歩掛りなし

1 (1)

掲載刊行物

建設物価（有 ・ 無 ） 掲載品目（ピアスタイプ・ワンダータイプ）

積算資料（有 ・ 無 ） 掲載品目（ピアスタイプ）

その他（カタログなど）

（ ）

「残存型枠プロテロックピアスワンダー」の概算直接工事費7,015円/㎡（砂防工、ピアスタイプ使用、中部地区の場合）。砂防工においては、国交省土木工事積算基準平成26年度版③残存型枠工の残存型枠（1枚当りの質量60kg以下）施工歩掛を適用する。静岡県内の一般構造物の残存型枠施工歩掛については、現場条件を踏まえて都度御見積とする。製品厚を設計断面内とする場合は、100㎡当り生コン2.8m<sup>3</sup>を控除できる。

## 積算資料等

国土交通省土木工事積算基準平成26年度版に掲載

## 施工管理基準資料等







## 新技術概要説明資料（3／5）

新技術名称	残存型枠工法「残存型枠プロテロックピラスワンダー」		登録No.	1077
<p>(適用条件)</p> <p>(適用できる条件) 「残存型枠プロテロックピラスワンダー」の組立・設置において、小雨程度の一般土木作業が可能な条件であれば問題ない。</p> <p>(適用できない条件) 半径10m以下のカーブ施工で勾配がある場合、型枠にすき間が生じ、意匠性を損ねる。</p>				
<p>(設計上の留意点)</p> <p>中仕切型枠や目地位置では、構造物表面のパネルの縁を切る（割付切れる位置に設置するか切断加工する）。切断加工の手間を減少させるため、可能な限り事前の割付検討を行う。</p>				
<p>(施工上・使用上の留意点)</p> <p>型枠パネル裏面及び専用組立部材に十分コンクリートがまわり込むように締め固める。ピラストップにおいては、貫通孔よりモルタルが小指ほど流れ出るまでバイブレーターをかける。</p>				
<p>(残された課題と今後の開発計画)</p>				
<p>(実験等作業状況)</p>				
<p>(添付資料)</p> <p>実験資料等</p>				
<p>その他</p>				
特 許	<input type="checkbox"/> 1. 有り（番号：     ） <input checked="" type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input type="checkbox"/> 4: 無し		番号	2
			特許番号	
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り（番号：     ） <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4: 無し		番号	4
			新案番号	
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号		
		建技審証第0218号		
	証明年月日	証明年月日		
		平成27年3月31日		
	制度等の名称	証明機関		
		一般財団法人 土木研究センター		
その他の制度等による証明	制度等の名称	制度等の名称		
		建設技術審査証明事業		
	制度名、番号	制度名、番号		
	証明年月日	証明年月日		
	証明機関	証明機関		
	証明範囲	証明範囲		

## 新技術概要説明資料（４／５）

新技術名称		残存型枠工法「残存型枠プロテロックピアスワンダー」		登録No.	1077
施工実績	実績件数	公共機関:	1787	民間:	1
	発注者	施工時期	工事名		CORINS登録No.
	静岡土木事務所	2013/09/01～ 2014/03/20	足久保川支川一免原沢通常砂防工事		
	静岡土木事務所	2013/09/01～ 2014/03/20	丸子川支川三角町西沢砂防工事		
	島田土木事務所	2013/09/01～ 2014/03/20	東光寺川支川トリ沢通常砂防工事		
	袋井土木事務所	2013/09/01～ 2014/03/20	倉真三区(B)県単急傾斜地崩壊工事		
	浜松土木事務所	2013/09/01～ 2014/03/20	両島瀬林急傾斜地崩壊対策工事		
	国土交通省静岡河川工事事務所	2013/04/01～ 2014/03/20	安倍川水系八重沢砂防堰堤工事		
	国土交通省静岡河川工事事務所	2013/04/01～ 2014/03/20	安倍川水系大ザレ溪流保全工事		
	国土交通省静岡河川工事事務所	2013/04/01～ 2014/03/20	安倍川水系砂防堰堤改修工事		
	静岡市役所	2013/09/01～ 2014/03/20	小坂川護岸改修工事		
	森町役場	2013/09/01～ 2014/03/20	町単独事業 町道大宮奥線改築工事		

## 新技術概要説明資料 (5 / 5)

新技術名称	残存型枠工法「残存型枠プロテロックピラスワンダー」	登録No.	1077
			
安良里坂本川砂防工事(下田土木事務所)	両島瀬林急傾斜地工事(浜松土木事務所)		
			
倉真三区急傾斜地工事(袋井土木事務所)	富士山鞍骨沈砂地流路工工事(富士砂防)		
			
ソーラーパネル基礎工事(民間)	砂防堰堤天端安全対策の例		